

やまがた市議会報

発行 山形市議会 編集 山形市議会事務局 山形市旅籠町二丁目3-25 電話 642-8404 平成25年7月15日 / 185号
 ホームページ <http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/gikai/> やまがた市議会 検索



「だし」は、なす・きゅうり・オクラ・ミョウガ・納豆昆布などを細かく刻んで食べる、山形の郷土料理だべニ。暑い夏に食べると身も心もスッキリ爽快だべニ!



ほながたのお宝紹介シリーズ③【郷土料理 だし】



▲7月から山形まるごと館紅の蔵で出会える「だしの冷製クリームスープ」(写真左)と「だしそば」(写真右下)

5月臨時会
6月定例会

議長を始め議員任期後半の役職構成が決定

6月定例会では緊急雇用対策などの補正予算案を全会一致で可決
 一問一答方式による一般質問の実施や議案に対する議員の賛否を公表

5月17日に開かれた5月臨時会では、2年間の任期満了に伴う議長・副議長や常任委員会の委員などの選出を行い、新しい体制による議会が始まりました。

また、6月定例会は6月13日から6月28日までの16日間の日程で開かれ、活発な議論が行われました。

6月定例会で提出された案件は、平成25年度一般会計補正予算や市消防本部高機能消防指令センターの業務委託契約の締結、子ども・子育て会議条例の設定など市長提出の議案14件と諮問1件、消費税の増税中止を求める意見書などの議会案3件です。

審議の結果、電気料金値上げに関する意見書およびTPPへの参加に反対することを求める意見書については賛成多数で可決、消費税増税中止を求める意見書については賛成少数で否決、その他の議案および諮問については全員異議なく可決、承認および同意しました。

また請願は、新たに提出された4件を審議し、2件を採択、2件を不採択としました。

目次

議長、副議長就任あいさつ	2
より開かれた議会を目指して	5
一般質問	6
予算委員会審査報告	12
常任委員会審査報告	13
請願	15
議決議案一覧、議案の賛否一覧表	16

平成25年4月から、議会基本条例で定める議会改革の取り組みが始まりました。詳しくは5ページをご覧ください。

市民の声を市政へ 積極的で活発な議会づくり

新体制でスタート

議長に加藤賢一議員、副議長に石沢秀夫議員が就任

さらなる議会の
活性化を目指して

議長 加藤 賢一

このたび、議員各位のご推挙をいただき、議長に就任しました。誠に光栄に存じますと共に、歴史と伝統の重みを感じ、併せて責任の重大さを痛感しております。

就任に当たって



市民に姿の見える
議会を目指して

副議長 石沢 秀夫

今年4月から山形市議会基本条例が施行されました。その速やかな実行を図るとともに、活発な議員間討議による市民目線の政策提言をしつかりと行っていくことと、積極

時代のニーズによって変えなければならぬものと、一方変えてはならないものがあります。今年は最上義光公没後400年の節目の年に当たりますので、山形のアイデンティティーを再認識し、伝統と進化を見据えた「山形らしさ」のまちづくりに取り組んでいきます。

昨年制定し、今年4月から施行された議会基本条例によって課せられた具体的な取り組みも積極的に実施していく所存でありますので、市民の皆様のご協力ご支援をよろしく願います。

的な議会報告会の開催が重要なことではないかと考えています。

少子・高齢化社会への対応、地域経済の活性化、市民生活の安定や安全安心の確保など課題が山積するなか、市民の負託に応え、奮闘する議員の姿が求められています。

執行部との関係では、常に緊張感を持って「是々非々」の立場を貫くことが、議会に課せられた使命と認識しています。

市民に姿の見える存在感のある議会を目指して、一生懸命頑張っております。

議員任期後半の役職を選出

5月17日に開かれた5月臨時会において、議長・副議長の選挙が行われました。選挙の結果、議長に加藤賢一議員、副議長に石沢秀夫議員が選出されました。このほか、各常任委員会および議会運営委員会などの委員の選出を行いました。

第41代議長に

加藤賢一議員が当選

正副議長選挙は5月17日に開かれた本会議で行いました。まず、加藤孝議長からの議長辞職願を承認し、議長選挙（出席議員34人）を行いました。

投票の結果、投票総数34票中、加藤賢一議員（緑政会）が18票、斎藤武弘議員（自由民主党新翔会・改革会議）が15票、無効票1票で、加藤賢一議員が議長に選ばれました。

次に、鍮水一美副議長からの副議長辞職願を承認し、副議長選挙（出席議員34人）を行いました。

投票の結果、投票総数34票中、石沢秀夫議員（市民連合山形市議団）が18票、須貝太郎議員（自由民主党新翔会・改革会議）が15票、無効票1票で、石沢秀夫議員が副議長に選ばれました。



▲緊張した様子で開票の状況を見守る開票立会人の議員

休憩後、任期満了に伴う各常任委員と議会運営委員の選任などを行った後、再度休憩し、委員会の正副委員長の互選などを行う委員会を開催しました。

本会議再開後、議席を変更し、各委員会の正副委員長の互選の結果報告などを行い、新しい構成が決定しました。

新体制における議会の構成、議会選出の各種委員および会派（交渉団体）などは、3ページをご覧ください。

各委員会の構成

■議会運営委員会 (10人) <議会の運営について協議>

委員長 後藤 誠一 副委員長 斎藤 淳一
 委員 川口 充律 武田 聡 渡辺 元 中野 信吾
 斎藤 栄治 遠藤 和典 丸子 善弘 今野 誠一

<常任委員会>

■総務委員会 (9人)

<総務・企画・財政・消防などを所管・審査>

委員長 中野 信吾 副委員長 渋江 朋博
 委員 高橋 公夫 諏訪 洋子 後藤 誠一
 今野 誠一 阿部喜之助 尾形 源二
 石沢 秀夫

■産業文教委員会 (9人)

<商工観光・農林・教育などを所管・審査>

委員長 遠藤 吉久 副委員長 伊藤 香織
 委員 阿曾 隆 浅野 弥史 武田 新世
 川口 充律 菊地健太郎 丸子 善弘
 斎藤 淳一

■厚生委員会 (8人)

<市民生活・福祉推進・子育て推進・病院などを所管・審査>

委員長 渡辺 元 副委員長 田中 英子
 委員 伊藤美代子 佐藤亜希子 折原 政信
 斎藤 栄治 長谷川幸司 斎藤 武弘

■環境建設委員会 (8人)

<環境・まちづくり・上下水道などを所管・審査>

委員長 小野 仁 副委員長 佐藤 秀明
 委員 武田 聡 鏈水 一美 遠藤 和典
 加藤 孝 須貝 太郎 鈴木善太郎

<特別委員会>

■予算委員会 (34人) <予算について審査>

委員長 鈴木善太郎 副委員長 高橋 公夫
 委員 議長を除く全議員

■決算委員会 (34人) <決算について審査>

委員長 川口 充律 副委員長 浅野 弥史
 委員 議長を除く全議員

<その他の委員会>

■議会報委員会 (4人)

<議会報の発行について協議>

委員長 武田 聡 副委員長 伊藤 香織
 委員 阿曾 隆 伊藤美代子

■議会図書室運営委員会 (4人)

<議会図書室の運営について協議>

委員長 佐藤 秀明 副委員長 渋江 朋博
 委員 田中 英子 佐藤亜希子

■議会改革検討委員会 (10人)

委員長 遠藤 和典 副委員長 渡辺 元 事務局長 川口 充律
 委員 佐藤亜希子 武田 聡 中野 信吾 斎藤 栄治
 後藤 誠一 斎藤 淳一 鈴木善太郎

議会選出各種委員など

<法律によるもの>

◇山形市監査委員

丸子 善弘 阿部喜之助

◇山形広域環境事務組合議会議員

浅野 弥史 川口 充律 渡辺 元 菊地健太郎
 後藤 誠一 今野 誠一 斎藤 淳一

◇山形市民生委員推薦会委員

田中 英子 斎藤 栄治

◇最上川中部水道企業団議会議員

高橋 公夫 長谷川幸司

◇山形県後期高齢者医療広域連合議会議員

鏈水 一美

◇山形市国民健康保険運営協議会委員

武田 聡 伊藤 香織 加藤 孝

<市条例等によるもの>

◇山形市住居表示委員会委員

川口 充律 中野 信吾 菊地健太郎 小野 仁

◇山形市都市計画審議会委員

高橋 公夫 渡辺 元 須貝 太郎
 尾形 源二

◇山形市環境審議会委員

伊藤美代子 渋江 朋博 佐藤亜希子 伊藤 香織

◇山形市青少年問題協議会委員

阿曾 隆 佐藤 秀明 小野 仁

◇山形市森林整備推進協議会委員

浅野 弥史

◇山形市社会教育委員

武田 聡 尾形 源二

より開かれた議会を目指して — 山形市議会基本条例が施行 —

平成25年4月1日から山形市議会基本条例が施行されました。この条例は、議会と議員の役割や議会運営、議員活動の基本的な事項を定めており、これまで以上に活発で開かれた議会になることが期待されています。

○議会への市民参加

・「一般質問での一問一答方式と一括質問方式の選択制を実施」

一般質問で、一問一答方式と一括質問方式の選択制を取り入れ、傍聴の方やインターネット中継をご覧の方にも分かりやすい活発な議論を行います。

※議会ホームページ生中継・録画ライブラリー [やまがた市議会 インターネット中継](#) 

・「請願・陳情者の意見陳述」

これまで書面で提出されたものを審査していた請願・陳情について、提出した方が議員に直接内容や思いを伝えることができるようになりました。

※15ページの請願一覧表に表記しています。



○議会からの情報発信

・「議案に対する各議員の態度の公表」

議員が議案に対して示した賛成や反対などの態度について、市民の皆さまにお知らせします。

※16ページに、議決議案一覧とあわせて議案の賛否一覧表を掲載しています。

・「議会報告会の実施」

市民の皆さまに、議会の審議過程や結果をお知らせする市民報告会が実施されます。

※議会報告会の日程は、やまがた市議会報や議会ホームページなどでお知らせします。

○議員間討議

市民の代表である議員が、さまざまな考えを持ちより討議を重ねることで、議会の特性を発揮し、幅広い視点からの調査や政策形成が可能になります。

みみより情報

山形市 最上義光公没後400年記念事業

とき 平成25年11月まで
【メインイベント】 10月12日(土)～13日(日)
ところ 最上義光歴史館、霞城公園、中心市街地ほか
内容 最上義光公没後400年の節目の年に当たり、記念事業が開催されます。詳しくはホームページをご覧ください。
問い合わせ先 実行委員会事務局 ☎641-1212

上市市 第43回かみのやま温泉全国かかし祭

とき 9月14日(土)～23日(月・祝)
ところ 上市市民公園(上市市役所東側)
内容 かみのやま温泉開湯555年を記念して、555体の個性豊かなかかしが待っています。
問い合わせ先 上市市観光物産協会 ☎672-0839

山辺町 山辺の歴史とものづくりを巡るまち歩き

とき 9月7日(土) 午前9時45分～
ところ 羽前山辺駅(集合場所)
内容 山辺駅を出発地に、史跡やものづくり企業を見学するまち歩き企画です。
問い合わせ先 観光案内所すだまり ☎687-0786

中山町 元祖芋煮会 in 中山

とき 9月14日(土) 午前11時～(予定)
ところ 中山町長崎 最上川中山緑地(河川公園)
内容 芋煮会発祥の地である中山町の最上川河川敷で行われます。
問い合わせ先 実行委員会事務局 ☎662-2114

やまがたベニまの 教えて! 議会用語



Q 付託ってなんだベニ?

A 議案などを審査する際、内容についてくわしく調べたり話し合ったりするために、担当する委員会へ審査を依頼することだよ。委員会での審査が終わると、依頼された委員会の委員長が本会議などで結果を報告して、議員はその報告を参考にして議決をするんだ。今回の6月定例会でも補正予算案や子ども・子育て条例案など14件の議案が、担当の委員会に付託されているよ。

一般質問



紅の花咲く初夏の頃に
市政発展に向け厳しく問う

山形市が誇る日本最古の
石鳥居の保護と活用を



浅野 弥史 議員

質問 新産業団地の誘致状況はどのようになっているのか。

答弁 現在はつきりした区画や配置など具体的なものはな

く、大まかな造成計画の段階である。個別での企業への誘致活動については、まだ働き掛けていない。

質問 地域経済の活性化と観

光客の誘客のため、カジノを含む統合型リゾート（ＩＲ）施設を積極的に誘致してはどうか。

答弁 ＩＲ立地が実現した場合の経済効果は大きい。本市の観光振興の方向性と合致するかが最も重要である。法案などについても引き続き、情報収集を行っていく。

質問 本市が誇る日本最古の

質問者

質問の要旨

浅野 弥史
(自派 革新党・望海)

一答問

地域経済対策、文化財の保護と活用、サッカースタジアム、少子化・待機児童問題、市職員の給与と人事について ほか

斎藤 淳一
(緑 政 会)

一質問

サッカースタジアムとドーム型競技場、子育て都市宣言、保育園の現状と支援策、自主防災組織について ほか

田中 英子
(自派 革新党・望海)

一質問

安全・安心な都市機能の充実、産業振興と中心市街地活性化、スポーツ施設整備と活力あるまちづくりについて ほか

折原 政信
(所属党派なし)

一質問

前立腺がん予防、少子化対策、住民参加型市場公募債の発行について ほか

佐藤 秀明
(市民連合山形市議員)

一質問

公契約条例、ＴＰＰ問題、水道事業、エネルギー政策、職員定数、体罰問題、芸工大のピエンナールについて ほか

武田 新世
(所属党派なし)

一質問

子育て環境のさらなる充実、気になる子どもへの支援策、24時間健康・医療相談サービス、投票環境の改善について ほか

鎌水 一美
(緑 政 会)

一質問

市有施設の有効活用、少子化防止対策、農作物被害の防止策、バイオエコ事業支援、空き家対策条例の制定について

須貝 太郎
(自派 革新党・望海)

一質問

環境問題、教育問題について ほか

石鳥居の保護や周辺整備、観光資源としての活用などを図るべきだと思いがどうか。

答弁 文化庁との協議などを行い、保存修復計画を策定し、保存修復工事の実施を検討していく。石鳥居の周辺の道路は狭く、場所が分かりづらくなっているため、観光客の方により分かりやすい看板の設置やパンフレットへの記載な

どを検討しながら、観光資源として活用していく。

質問 サッカースタジアムを建設する際には、財政負担を考え広く寄付を募ることや、市場公募債の活用を検討してはどうか。

答弁 市民からの寄付や住民参加型の市場公募債の活用は、市民の参加意識の高揚やモンテディオ山形を応援する機運



▲山形の将来を担う子どもたち



斎藤 淳一 議員

サッカースタジアム建設は市民への丁寧な説明を



▲千年もの時を経て現存する石鳥居(小立飛地)

質問 モンテディオ山形の本拠地誘致で、本市が検討してきたドーム型競技場とサッカースタジアムの機能は共有できるのか。

答弁 ドーム型競技場とサッカースタジアムは別のものであり、ドーム型競技場の機能を全て共有できるとは考えていない。本市への誘致が実現する場合、その機能に配慮がなされるよう努めていく。

質問 ドーム型競技場の建設基金は積み増しするのか。また、今後の方針はどうか。

答弁 サッカースタジアムが市内に整備される場合は、

の盛り上げに効果があると考えている。今後の事業の進展を見ながら、検討していく。

質問 少子化対策の一環として、保育にかける保護者の経済的負担の軽減を図るべきである。国による幼児教育無償化と並行し、第3子以降の子どもに対し保育料や給食費の無料化などの支援を行うべきではないか。

質問 ドーム型競技場建設基金を財源とする。その際、建設までの期間は基金を積み増していきたい。

質問 スタジアムが市内に整備される場合、どの程度の負担を想定しているか。また、ドーム型競技場の整備方針を取り入れた計画を、県などに提言すべきではないか。

答弁 応分の建設費支出は必要と思われる、ドーム型競技場建設基金を活用した負担は30億円程度を想定している。本市に整備される場合は、できるだけ早く意見交換をしたい。

質問 本市において7つ目の宣言となる子育て都市宣言を行ってはどうか。

答弁 子育て支援は一定の成果を上げているが、待機児童の問題などもあり、引き続き総合的な子育て環境の充実に

答弁 保育所に同時に入所していない場合の第3子以降の保育料無料化は、国や県の動向を注視しながら、実施の可否について検討していく。3人目以降の小・中学校の給食費無料化は、これまで実施している施策を検証しながら、少子化対策として効果が出るかどうかを慎重に見極めていく。

質問 認可権限を有する県は、財務体質審査に加え、人員配置や勤務実態、保育記録などの指導監査を毎年実施している。県と連携し、保育の質が維持されるよう対応する。

質問 保育士確保のため、民間立認可保育所連絡協議会の就職ガイダンスなどに支援をしてはどうか。

答弁 県の施策を活用しながら支援していく。

質問 集団生活への適応が難しい「気になる子ども」の相談に対応するため、こども保育課に専門員を常駐させるべきではないか。

答弁 発達相談は、発達障が

質問 待機児童の多くは2歳児までである。待機児童を解消するために、市立保育所を0〜2歳児専用にしてはどうか。

答弁 兄弟が別々の保育園に通うことになったり、将来、転園が必要となる課題などがあることから、十分な調査を行った上で検討していく。

質問 市職員の給与や人事に

質問 発達障がい発見のため、5歳児健診を行ってはどうか。

答弁 5歳児よりさらに早い時期からの発達障がいの発見と支援に向けて、1歳6カ月児健診や3歳児健診、発達相談の体制を充実していく。

質問 新潟県三条市では、発達障がいなどで支援を必要とする方に、乳幼児から就労までの支援のため、ワンストップで相談できる体制を整えている。本市もこのようなシステムを導入してはどうか。

答弁 幼稚園や保育園、小学校での幼保小連絡協議会を設置し連携を図っている。三条市の事業は、今後研究したい。

において、査定制度や公募による人事異動制度を導入するなど、職員のやる気を向上させる施策も必要だと考えるがどうか。

答弁 現在は職員の勤務実績などを反映できる制度を導入している。新たな事業展開を図る場合や、専門的な知識を要する場合などに応じて公募の実施を検討していく。



女性が活躍できる 自主防災組織の体制づくりを

田中 英子 議員

質問 自主防災組織について、どのように組織率を高めていくのか。また、過疎化している地区や高齢者の割合が高い地区の組織化についてはどう考えているのか。

答弁 自主防災組織の設立数は364団体で、市街地の組織化率が約40%に対して郊外が約90%と非常に高い割合になっている。説明会や個別の相談を通じて、地区の状況に応じたきめ細やかな助言を行うことにより、組織化率の向上に努めたい。

質問 自主防災組織における女性の割合は、どのようにし



▲オレンジリボン運動で子どもたちの健やかな成長を推進

安心して子どもを産み育て られる環境をつくれ

折原 政信 議員

質問 男性の前立腺がんの予防について、市報などを活用

答弁 市報やホームページを

活用し、前立腺がんについての正しい知識を市民に周知していく。

質問 人生の大きな節目である60歳の還暦記念として、前

て高めていくのか。また、女性ならではの視点から見た意見を取り入れていくべきかと思うがどうか。

答弁 自主防災組織への女性の参画を推進するよう、平成24年度末に作成した自主防災組織設立マニュアルに記載し、説明会や個別相談でも同様の趣旨で助言を行っている。女性の意見を取り入れることについては、地域の民生委員や福祉協力員、町内会の女性部や子供育成会、女性防火クラブなどの連携によって活動の充実強化を図っている。

質問 県道仙台山寺線のトンネル化に向けて、県に働き掛けていくべきではないか。

答弁 県に対する重要要望項目から20年度より取り下げているが、県と直接的な話し合いをしたことがないことから、

立腺がん無料検診クーポン券を発行してはどうか。

答弁 前立腺がん検診を住民検診にすることについては、国の研究結果や他自治体の動向などを注視していく。どの方法がより検診の動機付けになるのか検討したい。

質問 5万円上限の特定不妊治療の助成をさらに拡充して実施すべきではないか。

今後、意見交換を行っていきたい。

質問 最上義光公没後400年記念事業や山形まるごとマラソンなどさまざまなイベントが予定されているが、成功させるためにはシャトルバスの運行などが必要だと思ふ。交通アクセスと駐車場の確保について聞きたい。

答弁 山形まるごとマラソンでは、山形駅からのシャトルバスの運行を計画している。大規模なイベントを開催する際は、警察や道路管理者および関係機関と十分協議を行い、万全な対策をしていく。

質問 平成26年の東北六魂祭における市内での実施場所は、どのように考えているのか。どのようになっているのか。また、直ちに実行委員会を立ち上げて準備を進めていく必要があると思ふがどうか。

答弁 厚生労働省で助成の対象範囲や給付水準などの見直し協議されており、動向を見極めた上で、助成事業を実施していく。

質問 認知度が低い不育症について、市報や市の広報番組などで特集を組み周知徹底を図るべきではないか。

答弁 市報やホームページを活用しながらPRを行っている。

答弁 全国から多くの来場者が予想されるため、安全安心、街なかの賑わいなどを考慮して、警察など関係機関と協議の上、設定していく。

質問 総合スポーツセンターに屋内50mプールを造り、全国大会を誘致してはどうか。

答弁 総合スポーツセンターのプールは、国体予選や中体連などの各種地区大会の開催が可能な競技型スポーツ施設であり、今後ともその機能を維持していきたい。

質問 児童虐待防止のオレンジリボン運動について、市のホームページなどを活用してさらに啓発すべきではないか。

答弁 ホームページの活用や地域での児童虐待防止のPR機会などで、引き続きオレンジリボン運動の啓発に努めていく。

質問 不育症のカウンセリングや相談窓口の開設、不育症治療助成制度の確立を図るべきではないか。

答弁 県では、平成24年度から山大附属病院内に不妊専門相談センターを設置するとともに、保健所内の女性健康支援センターで相談を行っている。助成制度は、引き続き国

※ 不育症…妊娠するものの、流産や死産などを繰り返してしまう症状。



▲安全な食材を確保して給食を提供する市給食センター

安全基準も懸念されるが、給食の安全性を将来にわたって

もろうように考えている。

【質問】 T P P問題では食品の

【質問】 作業報酬審議会は作業

報酬単価だけではなく、公契

約制度全体を審議するものに

すべきではないか。

【答弁】 条例の施行や運用に関

する問題についても審議して

【質問】 公契約条例の制定と入

札制度改革は同時に行うべき

である。入札時の最低制限価

格を引き上げてはどうか。

【答弁】 入札や契約制度の見直

しを行う際に検討していきたい。

【質問】 水道料金を安くするた

めに、調達コストの高い県営

村山広域水道からの受水費の

見直しを進めてはどうか。

【答弁】 平成24年11月に見直し

などを要望しており、今後も

要望していく。

【質問】 発電事業を行うことで

水道料金が安くなると思うが

どうか。

【答弁】 早期導入に向けた調査

設計を行うとともに、財源の

検討や関係機関との協議をし

ていく。

【質問】 市有施設を貸し出し、

共同出資によって多くの市民

が参加できる発電事業を行っ

てはどうか。



佐藤 秀明 議員

公共調達の品質向上と労働者の待遇改善を



▲元気な子どもたちに明るい未来を

の動向を注視していく。

【質問】 子宮頸がんワクチンの

接種を不安に思っている市民

に対し、情報を提供しながら

啓発に努めるべきではないか。

また、市内で副反応などが発

症したことはあるのか。

【答弁】 ホームページや市報、

学校を通じて情報提供を図っ

ていく。本市における副反応

事例は現在のところない。

【質問】 成人への風疹の予防接

種に対し、補助を行ってはど

うか。

【答弁】 国や県単位で助成を行

うべきであると考えており、

今後、国や県に対して要望し

ていく。

【質問】 新野球場建設について、

住民参加型市場公募債を検討

してはどうか。

【答弁】 調達コストや所要財源

【質問】 健康麻雀を含め、どの

方法が有効であるか、社会福

ではどうか。

【答弁】 長野県飯田市のおひさ

まファンドなどの先進事例を

研究していく。

【質問】 市職員の休職者が多い

のは、職場環境にも問題があ

るのではないか。

【答弁】 外部専門スタッフを充

実するなど、メンタルヘルス

【質問】 国民健康保険において、

審査機関による医療費の減額

査定があった場合、患者の支

払い分は返還されるのか。

【答弁】 適切に返還するよう市

医師会に要請していく。

【質問】 患者負担が1万円未満

の場合は通知もされないが、

公平性に欠けるのではないか。

【答弁】 国の指導により、額の

大きいケースについて通知す

【質問】 部活動に対し、教育的

役割を過大に押し付けないた

めに、総合型地域スポーツク

ラブの増設が必要ではないか。

【答弁】 具体的な支援要請は現

在のところないが、積極的に

支援していく。

※1 健康麻雀…「賭けない」「飲まない」「吸わない」をスローガンに、知的スポーツゲームとして楽しむ麻雀。
※2 公契約条例…地方自治体が公共工事や委託事業を発注する際、事業に従事する労働者への賃金を適正に確保させる制度。
※3 ピエンナーレ…2年に1度開催される美術展のこと。



子育て環境のさらなる充実を 目指し積極的な支援を図れ

武田 新世 議員

質問 里帰り出産時に、市外の医療機関で乳児健診をした場合の助成を行ってはどうか。

答弁 滞在先での乳児健診は、集団健診の場合は無料だが個別の場合は有料になる。対象者がごく少数のため助成を行う予定はないが、他市の例も調査していきたい。

質問 県では待機児童ゼロの目標年次を平成26年度としていることから、本市でも県の目標に合わせ、待機児童対策に取り組んではどうか。

答弁 26年度に待機児童をゼロにする目標を掲げ、ハード事業とソフト事業の両面から



▲好調に利用されている24時間健康・医療相談サービス

保育需要に伝えていく。

質問 本市における保育士の確保や処遇改善に向けた施策の取り組み状況はどうか。

答弁 民間立認可保育所運営費補助金を、1保育所当たり10万円増額して175万円を全保育所に交付することで、保育士の確保を支援している。

質問 認可外保育施設の保育士資格取得支援事業に対する市の取り組み状況はどうか。

答弁 25年度に国と県が創設しており、本市も積極的に活用し保育サービスの質の向上を図っていく。

質問 新潟県三条市では、25年度から年中児発達参観を実施するが、本市でも同様の取り組みを実施してはどうか。

答弁 発達障がいの早期発見に係る基準や対応方法が標準化されていないことなどから

支援が難しい状況にあるが、先進事例を参考にしながら検討すべきものと考えている。

質問 発達障がいに関わる方々への支援として、情報交換の場を設けてはどうか。

答弁 市社会福祉協議会で実施している「おしゃべりサロン」などがあるので、今後とも周知に努めていきたい。

質問 24時間健康・医療相談サービスが開始されたが、5月中の相談件数や相談内容、119番通報に転送した件数はどうか。また、転入手続時にチラシを配布したり、母子健康手帳と共にフリーダイヤルを明記したシールを交付してはどうか。

答弁 相談件数は948件で、主な相談は身体の症状や病気の治療に関するものである。119番に転送されて救急出

動した件数は5件で、いずれも急病での出勤であった。母子健康手帳と一緒に配布している子育てガイドで周知しているが、母子健康手帳の活用なども検討していく。

質問 期日前投票を行う際、投票所受付で記入している期日前投票宣誓書兼投票用紙請求書を、投票所入場券の裏面に印刷してはどうか。また、市のホームページからダウンロードできるようにしてはどうか。

答弁 本市の投票所入場券は、1枚の用紙に世帯員4人分を印刷していることから、1人当たりの面積が小さく裏面へ印刷することは難しいが、方法を研究したい。宣誓書を平時にダウンロードができるようにするとともに、検索しやすくするようにしていく。



公有財産の効率的な 運用を図れ

鑑水 一美 議員

質問 国際交流広場野外ステージの利用料金を見直し、国際交流プラザ全体の利用率向上を図ってはどうか。

答弁 国際交流プラザ全体の利用率向上を目指し、ニーズ調査などを実施しながら、有効な活用形態や利用料金などについて検討していく。

質問 公有財産の新たな活用方法や処分の検討について、現在の実態と進行状況はどうか。

答弁 平成23年度の行政監査で指摘された11件については、24年度から活用の方向性を検討している。調整が必要なものもあり、引き続き活用を検討していく。

質問 市街地公民館をコミュ

ニティセンター化していく考えはないのか。

答弁 コミュニティセンター化の方向性を確認しているが、地域との関わり方に相違があり問題もあるため、移行時期は今後の課題である。地域自らが積極的にまちづくりに関わられるような公民館事業を展開していく。

質問 少子化問題の解決策は

経済にあると考え、対象者の市税を免除するなど大胆な発想をしてはどうか。

答弁 経済面での支援も一つの方策であり対応を進めているが、27年度から開始予定の子ども・子育て支援新制度の動きを見ながら対応していく。

質問 農作物の被害対策として、モンキードッグを事業化してはどうか。

※ モンキードッグ…農作物に被害をもたらすサルを追い返すよう訓練された犬。



▲公共施設の管理情報を一元化せよ

質問 施設の管理情報を一元化した「公共施設マネジメント白書」を作成してはどうか。

答弁 市上下水道事業基本計画を策定し、将来の需要に合わせた適正規模での更新を行っていく。

質問 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、対策工事を平成25年度から実施していく。

答弁 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、対策工事を平成25年度から実施していく。

質問 市道の橋梁の長寿命化と耐震化をどのように進めていくのか。

答弁 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、対策工事を平成25年度から実施していく。

将来を担う子どもたちへさらなる教育の充実を

須貝 太郎 議員



▲空き家の適正な維持管理を

質問 有害鳥獣パトロールが農作物被害の防止に効果が出ていることから、パトロールによる追い払いを重点に進めていきたい。

答弁 有害鳥獣パトロールが農作物被害の防止に効果が出ていることから、パトロールによる追い払いを重点に進めていきたい。

質問 サルの追い払い事業について、市単独事業として元の有害鳥獣の駆除者の中から駆除従事者を選任すべきと考えるがどうか。

答弁 国の制度を有効に活用し、その制度が廃止になった場合は、市単独事業で業務を行ってきたい。

質問 生ごみの減量のため、堆肥施設の事業化などの強化策は考えているのか。

答弁 生ごみやさいクル事業を開始しており、生ごみ資源化の取り組みを推進するとともに、ごみそのものを出ささない発生抑制にも視点を置きながら、生ごみ減量の必要性を啓発していく。

質問 建築物の適正管理による所有者の責務の明確化と、空き家の除去に対する実効性のある行政指導の体制づくりについてどのように考えているのか。

答弁 責務を果たしていない所有者もいるのが現状である。緊急避難的な対応が必要な物件に限って、強制的な措置をとることができるが、該当しない物件は、催告など強制的な体制を整えるための条例の制定が必要だと考える。

質問 学校週5日制の趣旨は、学校以外で過ごす時間を増やし、生きる力を育むことであつたが、目的の達成度は低いのではないか。

答弁 学校週5日制の趣旨は、学校以外で過ごす時間を増やし、生きる力を育むことであつたが、目的の達成度は低いのではないか。

質問 学校週5日制を続けることは、最終的な学力低下につながると思うがどうか。

答弁 学校教育の重点施策に、いじめや体罰のない学校づくりの推進を加え、道徳教育のさらなる充実を図っていく。

質問 学校週5日制を続けることは、最終的な学力低下につながると思うがどうか。

答弁 学校教育の重点施策に、いじめや体罰のない学校づくりの推進を加え、道徳教育のさらなる充実を図っていく。

質問 他市の例を参考にしながら、長期的な管理の視点に立った計画の策定を進める。

質問 安倍内閣が発足させた教育再生実行会議の提言について、どのように考えるか。

答弁 他市の例を参考にしながら、長期的な管理の視点に立った計画の策定を進める。

質問 文科科学省では、公立小・中学校の学校週6日制について検討を始めている。本市としても導入すべきだと思ふがどうか。

答弁 法制度も伴うため、導入については十分に時間を掛けて、慎重に検討していく必要がある。

質問 ニートや引きこもりなどの若者を支援するための、子ども・若者支援地域協議会を早急に設置すべきだと思ふがどうか。

答弁 支援している民間団体との情報交換を十分に行い、協議会の設置に向けてさらなる検討を進めていく。

質問 市街化調整区域の線引きを無くして、格差のない調和のとれたまちづくりをすべきだと思ふがどうか。

答弁 市街化調整区域の線引きを無くして、格差のない調和のとれたまちづくりをすべきだと思ふがどうか。

質問 生活保護受給者の就業意識を高めるために、独自の施策を行っていくべきだと思ふがどうか。

答弁 失業者の増加や稼働年齢層の減少、家族による扶養能力の低下などにより増加したと考えている。

質問 課題の整理や検証を行いながら検討していく。

質問 生活保護費の増加には、どのような原因があるかと考えているのか。

答弁 現在実施している実態調査を踏まえ、対応策について、条例化の可否を含めて25年度中にとりまとめていく。

質問 市スポーツ振興計画期間の29年度までの計画期間内に、整備計画の策定に着手することとしている。

質問 蔵王みはらしの丘ニュータウンの中核施設の現在の状況についてはどうか。

答弁 市スポーツ振興計画期間の29年度までの計画期間内に、整備計画の策定に着手することとしている。

※1 生ごみやさいクル事業…乾燥した生ごみを回収し、堆肥として活用する事業。指定された場所に持参すると、ポイントが貯まり野菜などと交換できる。
※2 公共施設マネジメント白書…自治体が所有する資産（土地、建物）の実態を把握し、維持管理や有効活用を図っていくための指針とするもの。

予 算

委 員 会

予算委員会は6月20日に開会し、初めに委員長、副委員長の互選を行いました。その結果、委員長に鈴木善太郎委員、副委員長に高橋公夫妻を選出しました。

続いて、一般会計補正予算および専決処分の承認について当局から説

明を受けた後、質疑を行い、案件を担当する各分科会に分割付託して審査を行いました。

6月26日に委員会を再開し、各分科会の審査報告を受けて採決した結果、全員異議なく採決および承認すべきものと決定しました。

総務分科会

元氣臨時交付金の活用で市内の経済を活性化

委員 元氣臨時交付金の活用で、事業を前倒しすることは安直に感じる。ほかに、必要だが今回選択しなかった事業もあったのではないか。

財政課長 適債性のある地方単独事業であることや、平成25年度中に事業が完了することなどの条件があるなか、市民生活の利便性向上、安全

心の確保、計画があった施設の大規模改修という3つの視点で選択した。新規の事業を設計から始め、年度内に完成するのは実務的に不可能な状況であった。

委員 コミュニティバスの購入費について、ラッピング費用などはどのように取り組むのか。

企画調整課長 車両購入費には、ラッピング代も含まれており、デザインについては、はながたベニちゃんなどを活用して市のバスであることを強調することを考えている。地元の人から愛

着を持ってもらうことも大切なことであるので、沿線の方々からバスに愛称をつけてもらうことも考えている。

委員 選挙事務に若い職員を従事させて人件費を削減することだが、同じ作業をするのに年齢で人件費に差をつけるこ

6月の主な補正予算 一般会計 ※8億4,188万円

※平成24年度中に緊急経済対策事業を前倒して実施したため、実施済みの25年度当初予算重複計上減額分を除いた額を掲載しております。

- <主なもの> (千円以下切り捨て)
- 蔵王ジャンプ台改修工事費……1億3,500万円
 - 保育士等処遇改善事業費補助金 ……7,580万円
 - 桜田小学校校舎等屋根防水改修工事費 ……4,800万円
 - 西部循環線バス購入費 ……4,200万円
 - 公園、馬見ヶ崎プールジャバ遊具等更新事業費 ……3,800万円



▲適正で正確な選挙の執行を

選管事務局長 現在は、時間外手当で対応しているため、給与単価が低い職員を従事させることで、経費を削減することができるとしている。

厚生六分科会

保育士への処遇改善で長期的に働ける環境を整備

委員 子ども・子育て会議は、どんな経緯で設置されるのか。

子ども保育課長 子ども・子育て支援法に、子ども・子育て支援策に対する市民の意見を聴く機関として条例で設

置することに努めるものとする規定されており、それに基づき設置することになる。

委員 保育士等処遇改善事業補助金は、今回限りなのか。

子ども保育課長 平成25年度は国の補正予算で措置されたが、国は、26年度の予算に組み入れたいとしている。27年度からは、子ども・子育ての新たな制度に基づき、国は対応していきたいとしている。

委員 本市での保育士の離職率はどのくらいなのか。また、離職の理由は何か。

子ども保育課長 離職率や離職の理由については調査していないが、平均の勤続年数は8・03年となっている。

委員 放課後児童クラブの指導員のうち、有資格者はどの程度いるのか。また、無資格者はどのような資格を取得するのか。

子ども福祉課長 常勤指導員116人のうち、有資格者は111人、無資格者は5人である。資格は、児童厚生員2級であれば、通常10日間、短期間で4日間の研修により取得できる。

委員 児童遊園にある樹木の枝が折れて子どもがケガをした場合、その責任は所有者にあると聞く。遊具を更新する



▲樹木の適正管理でのびのびと遊べる児童遊園

際、樹木の管理を所有者に指導するとともに、児童遊園の設置場所についても意見を聴くべきではないか。

子ども福祉課長 地域の方に日頃の見守りをお願いしており、遊具を更新する際は、町内会などに場所が適切かどうかも含め相談している。

委員 消費者行政活性化事業の啓発用カレンダーは、なぜ昨年引き続き作るのか。

消費生活センター所長 昨年、広報やまがたに折り込みをして全戸に配布した結果、相談者の数が増え周知効果があったためである。

委員 消費者行政活性化事業の工事の内容は何か。

消費生活センター所長 消費生活センターの研修室にあるDVDなどを上映するプロジェクターを、最新の設備に

拡充するものである。

※ 元氣臨時交付金…国の経済対策によって、地方自治体の財政負担が過大になることから、地方自治体の資金調達のために国が創設した交付金。地域の元氣臨時交付金。

産業文教分科会

地域に根ざした事業で雇用を創出

委員 緊急雇用機会創出支援事業の委託先は、どのようなところを想定しているか。

商工課長 募集要項の配布などを行い、事業者を決定していく。事業にふさわしく、随意契約が可能な企業であればお願いをして決めていく。

委員 人材確保支援事業における市内企業の見学ツアーは、地元の大学だけではなく首都圏にも広く募集するのか。

商工課長 山形大学と東北芸工大から、中小企業の企業実態を理解する機会を作ってほしいと話があり、山形で生活している学生に中小企業の現状や現場を見てもらい、気づきと発見の場を作るものである。

委員 被災児童生徒就学援助扶助費は、1人当たりいくらになるのか。

学校教育課長 入学準備金が支給される小学校1年生は、7万3000円程度、小学校2～5年生は6万円程、修学旅行のある小学校6年生は約7万8000円、中学校3年生は約13万2000円となる。委員 第五中学校の改築工事



▲改修が進む蔵王ジャンプ台

によって、グラウンドの代替はどのようになるのか。

教委施設整備室長 授業にについては、馬見ヶ崎河川敷を使用する予定である。

委員 蔵王ジャンプ台の増額補正の理由は、円安と国際スキー連盟からの指導が原因とのことだが、その経費の内訳はどうなっているのか。

スポーツ保健課長 ドイツからの輸入製品のオールシーズントラックの設置費が、当初1億4800万円と見込んでいたものが1億8800万円程度になる。国際スキー連盟からの指導分については、ワールドカップを開催するには国際放送が義務付けられることから、カメラポジションなどの修正の指摘を受けて約3800万円の増工が必要となり、これらを総合的に考慮し、設計を変更する。

環境建設分科会

不測の都市整備で安全安心なまちづくりを推進

委員 市営南山形住宅工事の進捗率はどうか。

管理住宅課長 平成25年5月末の進捗率は約60%で、計画を上回っているが、昨年から資材不足や技術者の不足の影響で、1カ月ほど工期を延長している。

委員 元気臨時交付金で公園遊具などの更新を行うとのことだが、遊具の点検や更新基準はどうなっているのか。

公園緑地課長 日常的なパトロールに加え、専門業者の点検を毎年行っている。遊具の耐用年数は、国交省の補助金交付規則基準を参考とし、木製7年、金属製15年経過のものゝ状況を応じ更新している。

委員 今回の元気臨時交付金での照明工事は、LED照明への更新を行うのか。

公園緑地課長 水銀灯からLEDにした場合の灯具単価は上がるが、寿命が3～5倍、消費電力は3分の1となるため、環境保全などの点からLEDを使用したいと考えている。委員 元気臨時交付金で道路橋梁維持管理事業を行うとの

ことだが、今後同様の経済対策の補助がある場合、対象となるような事業のリストアップを行っているのか。

道路維持課長 今回の交付金では、市民の安全安心にかかわる単年度の事業について補助申請をしている。年次計画で行うべきものもあり、各事業に見合った補助申請を財政局と協議していく。

常任委員会

常任委員会に付託された案件は、業務委託契約の締結（市消防本部高機能消防指令センター整備業務）、子ども・子育て会議条例の設定、専決処分承認についての議案14件と諮問1件です。

各委員会において詳細に審査した結果、全員異議なく可決、承認および異議のない旨答申すべきものと決定しました。



▲交付金での消雪が予定されている山形駅東口の歩道

総務委員会

委員 高機能消防指令センター整備業務について、随意契約の理由は何か。

通信指令課長 迅速で確実なシステム構築や、実績と信頼性などを総合的に比較して検討するために、プロポーザル方式を採用した。委員 システムの更新はどのように行っていくのか。

システムを生かしながら、順次新システムへの切り替えを行っていく。

委員 職員給与に関する条例で、新型インフルエンザ等緊急事態措置の実施のため、本市に派遣された地方公共団体等の職員とはどのような人か。

職員課長 国や日本赤十字社などの公的な機関から派遣される人を想定している。委員 新型インフルエンザ等対策本部を設置した際、本部員には誰がなるのか。防災対策課長 災害対策本部に準じた構成員を充てる。

※ プロポーザル方式…業務委託などで複数の業者から業務内容や目的に対する企画を提出してもらい、それらを総合的に判断して最適な業者を選定する方法。

斎場への指定管理者制度導入について熱く議論

委員 斎場を業務委託から公募による指定管理に切り替える要因は何か。

健康課長 火葬件数が年々増加傾向にあり、市民が他市の斎場を利用するケースが増えている。施設の経年変化もあることから、施設管理と業務運営を一体的に行い、1日当たりの火葬件数を増やして市民のニーズに応えていきたい。

委員 公募による指定管理とした場合、市民から苦情が出ないような対策は考えているのか。

健康課長 現在の委託業者から、指定管理者が引き継ぎを



▲指定管理への移行でサービスの向上が期待される斎場

指定管理では事業者側からの改善策の提案が見込まれ、市民サービス向上への積極的な取り組みが期待できる。

委員 国民健康保険運営協議会の委員の数を増やすのはなぜか。

市民生活部長 国では、市町村単位の運営を県単位ですることなどを議論しており、国民健康保険制度の改正が平成27年度に予定されて

きちんと受けるよう仕様書に盛り込んでいく。

委員 他市における斎場の指定管理への移行はどのくらいあるのか。

健康課長 東北の県庁所在地では、青森市や盛岡市、仙台市が移行している。県内では、23カ所ある斎場のうち、6カ所が移行している。

委員 新斎場の建設計画はどのようになっているのか。また、指定管理になることで、どのように市民サービスが向上するのか。

市民生活部長 新斎場の建設には相当な時間が掛かることから、課題も含めて調査を実施していく。現状では年末年始などの込み合う時期の休場日を減らすことは難しいが、

いる。より広い立場から意見をもらうために増員したい。

委員 被災居住用財産の譲渡期限の特例について、東日本大震災で居住用家屋が滅失した方の相続人とあるが、対象者はいるのか。

国民健康保険課長 相続人については今年の譲渡分からの適用となるため、対象者については、現在のところ把握していない。

委員 子ども・子育て会議の委員に人数の割り当てはあるのか。また、組織会長などの充て職の考えはあるのか。

子ども保育課長 人数の割り当ての規定はない。委員については充て職ではなく、各団体などから適切な方を推薦してもらおう。

委員 子育て中の方へ委員の委嘱はしないのか。若者だけではなく年配者も加えるべきではないか。また、ニーズ調査はいつごろ行うのか。

子ども保育課長 幼稚園や保育園、小学校の父母の会など現役で子育て中の方にも委嘱し、他にも民生児童委員など幅広い年代の人を加えたい。計画を策定する際のニーズ調査は、10月ごろと考えている。

委員 福祉医療の給付は、地方自治体で行う事業なのか疑問がある。子育て支援か医療か、という根本的な問題についての考え方はどうか。

問がある。子育て支援か医療か、という根本的な問題についての考え方はどうか。

子ども福祉課長 国がユニバーサルサービスとしてすべきものと考えており、重要事項として県や国に要望している。

環境建設委員会 下水道使用料の賦課処分に係る諮問を審査

委員 下水道使用料の納入通知書に、審査請求期間などの表示が無かったとのことだが、現在は検針票や納入通知書に記載はあるのか。

上下水道部営業課長 平成25年4月から検針票裏面や納入通知書に記載している。また、広報やまがたやホームページに汚水排出量認定の特例を掲載している。

質疑の後、委員から、事前に相談があれば何らかの対応ができたと思われる、処分は妥当と考えるとの意見、制度がわかりにくいとの市民の声に對しては、周知の改善やより親切でわかりやすい対応が必要であるとの意見があった。

◇産業文教委員会では、請願2件（電力料金値上げについて、PPPへの参加に反対することに）を審査しました。

人事案件 固定資産評価員の選任に同意（5月臨時会）

固定資産評価員に、設業一義氏（前資産税課長）に代わり、平山和宏氏（現資産税課長）を選任することに、全会一致で同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦に同意（6月定例会）

人権擁護委員のうち、2人の任期が9月30日に満了することに伴い、次の方の推薦について、全会一致で同意しました。

菊地トシ子氏（和合町）
石山 徹氏（大字青柳）

意見書（要旨）

6月定例会で可決された意見書は2件です。いずれも関係機関に送付しました。

電気料金値上げに関する意見書

東北電力株式会社が、電気料金の値上げを経済産業省に申請している。

電気料金値上げは被災の有無に関わらず一律にかかってしまい、市民生活と企業、地域の経済活動に甚大な影響を

※1 充て職…特定の職にある者を、別の特定の職に就かせること。
※2 諮問…行政機関などが、特定の問題について一定機関や有識者に意見を求めること。

請 願

6月定例会で審議された請願は、新たに提出された4件です。結果は以下の通りです。
 (※印は請願者による意見陳述が行われたものです。)

番号	件 名	提出者	紹介議員	所 管 会	結 果
第2号	新規※	消費税増税中止を求めることについて 消費税廃止山形地区各界連絡会 代表 佐藤 弘	阿曾 隆 藤 栄 斎 淳一	総 務	不採択
第3号	新規	電力料金値上げについて 山形機械工業団地協同組合 代表理事 原田 好輔	後藤 誠一 長谷川 幸司 諏訪 洋子 尾形 源二 折原 政	産業文教	採 択
第4号	新規※	生活保護法改正の中止を求めることについて 山形県社会保障推進協議会 会長 高木 紘一	阿曾 隆 佐藤 秀明	厚 生	不採択
第5号	新規※	TPPへの参加に反対することについて 山形地方農産連 会長 吉田 吉弘 ほか1人	今野 誠一 佐藤 秀一 鍾水 美	産業文教	採 択

- 「請願者による意見陳述」については5ページをご覧ください。
- 議決の結果は、16ページの「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

与えるものである。とりわけ山形市は避難者が多い自治体であり、夜間使用電力なども含めた電気料金値上げは地域経済に大きな打撃となる。よって国に対し、電気料金値上げの申請に関する審査において、左記の措置が講じられるよう強く要望する。

1 値上げ申請の妥当性を厳しく審査するとともに、審査の経過についても速やかに公開すること。
 2 東北電力に対し、徹底した経営合理化の努力により値上げ幅の大幅な圧縮を行うよう求めること。
 3 東北電力が東日本大震災の被災3県を所管していることを加味し、電気料金の

TPPへの参加に反対することを求める意見書

安倍首相は3月15日にTPP交渉への参加を表明し、その道を突き進んでいる。TPPは、医療や食の安全、官公需発注、ISD条項など多岐に及ぶが、日本の主権が侵害されず、制度などが守ら

値上げが地方の地域経済や産業界に与える影響を調査し、政府としても特段の措置を講ずること。

れる保証もない。これでは安倍首相のいうルールメーカーにグに関わることも、国益を守る主張さえ十分にできない可能性がある。

安倍首相は「国家100年の計」としているが、国民に情報が開示されず、国民合意もないまま拙速にTPPへ参加することは容認できない。よって国に対し、左記の項目について速やかに必要な措置を行うよう強く要望する。

1 TPPに参加しないこと。

会 議 日 誌

(5月)

- 13日 議会運営委員会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 5月臨時会
本会議、議会運営委員会、議会改革検討委員会、総務・厚生・産業文教・環境建設委員会、議事報委員会、議事報委員会、議事報委員会、議事報委員会
- 18日 本会議(一般質問)、議会報委員会
- 19日 本会議(一般質問)、議会改革検討委員会
- 20日 予算委員会、議事報委員会
- 21日 総務・厚生・産業文教・環境建設分科会
- 24日 総務・厚生・産業文教・環境建設委員会
- 26日 予算委員会、全員協議会、総務・厚生・産業文教委員会
- 27日 議会運営委員会、議会改革検討委員会
- 28日 議会報委員会、議会史編さん委員会、本会議

9月定例会の日程(予定)

- (8月) 29日 議会運営委員会
 - (9月) 5日 本会議(開会)、議会運営委員会
 - 10日 本会議(一般質問)
 - 11日 本会議(一般質問)
 - 12日 決算・予算委員会
 - 13日 決算分科会
 - 17日 決算分科会
 - 19日 予算分科会
 - 20日 常任委員会
 - 25日 決算・予算委員会、全員協議会
 - 26日 議会運営委員会
 - 27日 本会議(閉会)
- 日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
 ☎(642) 8404

次号の表紙写真は？

次回186号で紹介するお宝は、秋から冬にかけてよく食べられる、あたたかい郷土料理です。さて、何でしょう？



山形市のお宝広報大使

